

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 指 す べ き 方 向 性	基本 政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針						
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容									
																			効率性	業務のプロセ ス改善(創意 工夫)	投入した費 用・労力に対 する成果			
																						説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応	情報発信の実 施
安全	1 安全・ 安心な 水道水の 確保	1-1 水源の保 全と確保	1-1-1 県水受水の 安定化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	埼玉県から購入する原水(県水)の安定的な 受水を図るため、埼玉県との連携を強化しま す。	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績 に基づき次年度の県水受水量を確保します。 ・事業1-1-2「自己水源の確保」と併せ、安定給水量 を確保します。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても安 定した給水ができるように、埼玉県との連携強化を 図ります。	①3,866.947 ②3,866.947	3,797.600	98%	・安定した県水受水量を確保するため、過去の実績を 基に必要量を予測し、次年度の県水受水量を確保しま した。 ・天候の変化などによる日々の水需要の変化に対 しては自己水源を活用し、安定した給水量を確保しま した。 ・埼玉県の年次点検による県水停止においても埼玉 県と連携を密にし、安定した給水ができました。	☐ 給水制限日数(0/0日) ☐ 受水予測精度(99.4/99.9%)	有効性	B	A	B	・水需要の動向に合わせ県水受水量の 配分を決定し、効率的な水運用を 行うよう努めます。 ・承認水量の範囲で自己水源を活用 し、県水受水目標である99.9%運用に なるよう努めます。	現 状 維 持 で 継 続						
			1-1-2 自己水源の 確保	浄水課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	・地下水の安定した揚水量を確保するため、 取水井の適切な維持管理を行います。 ・自己水源の安定的な確保を図るため、老朽 化した取水井の改良・掘替工事を計画的に実 施します。	・日常的に井戸の静動水位の監視や揚水量の測定 を実施し、井戸の健全性を確保します。 ・濁水時においても環境法令等を遵守した取水に努 めた上で必要な水源を確保します。 ・上青木浄水場6号井ポンプ更新工事を行い、自己 水源の安定的な確保を図ります。	①12.716 ②13.330	13.330	100%	・計画通り井戸の静動水位の監視や揚水量の測定を 実施し、井戸全体の健全性が保たれました。 ・濁水による給水制限はありませんでした。また、環 境法令等を遵守し必要な自己水源を確保しまし た。 ・上青木浄水場6号井ポンプ更新工事については、関 係各課と情報共有を行い、工期内に安全に完了させ、 自己水源の安定的な確保を行いました。また、故障 した新郷浄水場2号井ポンプを箇所外で更新工事 を実施し、自己水源の確保に努めました。	☐ 井戸の静動水位・揚水量の測定 (4/4回/年)	有効性	B	A	B	・井戸の静動水位及び揚水量の測定 を継続し、自己水源の保全に努めま す。 ・各井戸の掘替・ポンプ更新時期につ いて整理し、自己水源に影響がない よう努めます。	現 状 維 持 で 継 続						
		1-2 安全な水 質の維持	1-2-1 水質監視体 制の強化	浄水課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	・川口市水質検査計画に基づき水質監視体 制の強化を図ります。 ・安全な水道水を供給するため、自動水質監 視装置による24時間常時監視を行います。	・水質検査計画を作成し、上下水道局ホーム ページで公表します。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検 査結果を上下水道局ホームページで公表しまし た。 ・水質を24時間監視するため、点検委託を年1回 実施し、自動水質監視装置を維持管理します。	①22.319 ②22.319	19.952	89%	・水質検査計画を作成し、法の規定により事業年度 開始前に上下水道局ホームページで公表しまし た。 ・水質検査計画に基づいて水質検査を実施し、検 査結果を速やかに上下水道局ホームページで公表しま した。 ・自動水質監視装置の点検整備を実施し、装置の 管理に努めました。 ・県水の水質などの速報を課内で共有し、必要に 応じて他課に情報を伝え、情報共有を行いました。	☐ 水質検査計画作成・公表 ☐ 水質検査実施、公開 ・51項目 4回/年 ・9項目 12回/年	有効性	B	A	B	・必要に応じて水質検査計画の見直し を行います。 ・不測の事態が発生した場合は、水 の安全性を早急に確認する為に、臨時 水質検査を実施します。	現 状 維 持 で 継 続						
													効率性	B	B	・2月末には「令和6年度水質検査計画」を 作成し、年度開始前に市民に向けてホーム ページで公表し、法令を順守しました。 ・水質検査計画に基づき水質検査を実施し、検 査結果を速やかにホームページで公表出来ま した。 また、水質異常等の際には、速やかに臨時 分析を実施し、原因追及及び問題解決を図 りました。 ・自動水質監視装置の点検整備を実施し、装 置の管理に努めました。 ・県水の水質などの速報は、速やかに課内 で共有し、情報共有を行いました。								
													説明責任	B	B									
													組織学習	B	B									
	1-3 安全な水 道水の提 供	1-3-1 貯水槽水道 適正管理の 促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	貯水槽水道に関する安全管理につ いて継続的に広報していくととも に、貯水槽水道設置者に対し、水 質の安全管理に関する通知など により、貯水槽水道の適正な管 理を促進します。	・新設、改造、撤去等の貯水槽情報が更新 された場合は、上下水道局から保健所に情 報提供を行います。 ・上下水道局ホームページ、便利帳により 継続的に広報活動を行います。 ・新設貯水槽に貯水槽用ステッカーを貼付 し、設置者に対し啓発を行います。 ・貯水槽水道設置者へ管理指導通知を送付 します。	①561 ②561	472	84%	・貯水槽情報を市保健所に提供し連携を 図りました。 ・上下水道局のホームページ・水道便利 帳にて貯水槽の管理方法について広報を 実施し啓発に努めました。 ・貯水槽水道設置者に維持管理について 記載されているステッカーを配布し、新 規貯水槽(3月末現在111件)の検査時に、 目に見える位置への貼付の確認ととも に周知啓発を行いました。 ・貯水槽水道設置者に対し管理指導通知 (3,230件)を送付、通知に対する問い合 わせ(49件)に対し、管理指導・貯水槽 清掃業者の案内などを行いました。 ・貯水槽水道設置者へ管理指導通知を送 付し、通知に対する問い合わせ(49件)に 対し、管理指導・貯水槽清掃業者の案内 などを行いました。	☐ 貯水槽水道指導率(27.9/33.3%) ☐ 新規貯水槽(3月末現在111件)の 検査時に、維持管理に関するステッ カーの貼付の確認とともに周知啓発を 行った。 ☐ 貯水槽水道設置者に対し、管理 指導通知(3,230件)を送付。また、通 知に対する問い合わせ(49件)に対 し、管理指導・貯水槽清掃業者の案内 を実施。	有効性	B	A	B	貯水槽水道の適正管理は、設置者等 の衛生管理の意識を持続・向上する ために継続的な広報が必要のため、 引き続き上下水道局ホームページ・水 道便利帳により広報活動を行ってい くとともに、新規の設置者には設置 時に、既設の設置者に対しては管理 指導通知を個別に送付し効果の高い 啓発を行っていきます。	現 状 維 持 で 継 続							
			1-3-2 水道管洗浄 の促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	水道管の多くは錆鉄管またはダク タイル錆鉄管であり、管内面に防錆 処理をしています。が、鉄錆の発生 等により濁り水が発生する恐れが あります。そのため、水道管内の洗 浄作業を実施することにより、管内 状態を改善し、安全・安心な水道水 を提供します。	・配水管洗浄計画に基づき、効率的 に洗浄作業を行います。 ・水質劣化の起こりやすい配水管 末端地区やお客様ニーズの高い地 区において定期的に排水作業を行 います。	①94.875 ②94.875	81.841	86%	・ブロック化事業にて洗浄作業を行 いました。 ・水質劣化の起こりやすい配水管 末端地区21箇所を定期的に排水を 行い、水質劣化を防ぎました。 ・赤水の苦情及び管内状況把握の ため、管内調査を26箇所行いま した。	☐ 水質に対する苦情対応割合 (0.10/0.43件/千件)	効率性	B	A	貯水槽適正管理の促進としてデー タの精査を入念に行い発送して無 駄な送達を避け、さらに不達のも のに対しては現地調査を行うなど 今後の促進に寄与したものと考 えました。	今後配水管洗浄作業を継続し、施 工地区の管網特性を把握しつつ、 今後の維持管理に活かします。 また、水質劣化が起こりやすい配 水管末端地区等については、継続 して排水作業を行っていきます。	現 状 維 持 で 継 続						
													説明責任	A	B									
													組織学習	B	B									
	1-3-3 直結給水の 普及促進	上水道維持課	お客様がいつでも安心して水道 を利用できるよう、水道事業者や 水道施設の設置者と連携しなが ら、安全な水源を確保し、水道水 がお手元に届くまでのすべての 過程で安全かつ良質な水質を保 ちます。	貯水槽の設置場所や定期的な清 掃・点検が不要になり、常に新鮮 かつ安全・安心な水道水を直接 供給する「直結給水」の普及を図 るため、マンション等の高層建物 における「直結増圧式給水方式」 への切替を促進します。	・直結増圧式給水方式設計施行基 準に基づき、設置者と協議を行 い、適切に事業を実施します。 ・直結増圧式給水方式の普及を図 るため、上下水道局ホームペー ジ等により広報活動を行います。	①0 ②0	0	-	・直結増圧式給水方式設計施行基 準に基づいたマニュアルの作成に より、設置希望者に対して適切 な対応を行うことで直結増圧式 給水方式件数が、昨年度末より 88棟1,350戸増加しました。 ・上下水道局の窓口やホームペ ージ等で直結増圧式給水方式の 周知及び利用の促進を図りまし た。	☐ 直結給水率(64.0/63.6%) ☐ 直結増圧式給水戸数 (18,714/18,000戸) ☐ 直結増圧式給水普及率 (6.22/6.04%)	有効性	A	A	A	安心・安全な水道水を直接供給す る「直結給水」を更に普及させる ため、ホームページ等での掲載内 容や周知方法などを検討し、水道 使用者や事業者への理解の向上 と利用の促進を図ります。	現 状 維 持 で 継 続								
											効率性	A	B	直結増圧式給水方式に関する問 合せや、貯水槽からの切り替えの 相談等も徐々に増えており、指 標の目標値も達成したことから、 水道使用者にも直結増圧式給水 方式が浸透してきていると思われ ます。										
											説明責任	B	B											
											組織学習	B	A											

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針						
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容									
																			効率性	業務のプロセス 改善(創意工夫)	投入した費用・労力に 対する成果			
																						説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応	情報発信の実 施
強期	2安定・快適な水道水の供給	2-1水道施設の更新	2-1-1浄配水場施設の更新	浄水課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	施設更新基本計画に基づき、浄配水場施設の更新工事を実施します。更新にあたっては、将来の水需要に応じた施設規模の適正化を図ります。	・上青木浄水場は、委託3件工事1件を実施します。 ・新郷浄水場は、委託2件工事1件を実施します。 ・神根浄水場は、委託2件工事2件を実施します。 ・横曽根浄水場は、工事2件を実施します。 ・石神配水場は、工事3件を実施します。 ・鳩ヶ谷浄水場は、委託1件を実施します。 ・場外加圧ポンプ、工事2件を実施します。 ・南平配水場は、委託1件工事1件を実施します。	①1,438,971 ②1,687,236	697,498	41%	・関係各課と情報共有しながら、工期内に継続事業2事業・繰越工事2事業を含む計8件の工事が完了し、設備が性能回復することができました。また、継続事業2事業(工事2件)については、予定とおり進捗しました。 ・関係各課と情報共有しながら、より安全な運用と安定的な維持管理が可能となる設備にするため4件の設計委託を完了することができました。また、継続事業1事業(委託1件)についても、工事施工監理業務委託を完了することができました。 ・関係各課の計画進捗状況などの理由により、工事3件・委託5件が未実施になりました。	□ 浄水施設の耐震化率(48.9/48.9%) □ ポンプ所の耐震化率(66.9/66.9%) □ 配水池の耐震化率(76.6/77.4%)	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B B B	C B B	B ・横曽根浄水場変圧器盤等更新工事において、昨年度に引き続き、二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金を取得出来ました。	・関係各課と情報を共有し、工期内に安全に完了させます。	現状維持で継続						
			2-1-2老朽化管路の計画的更新	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	強靱性の低い高級铸铁管等や法定耐用年数を超えるダクトイル铸铁管等の老朽管を、施設更新基本計画および老朽度診断結果等に基づき耐震管へ更新します。	・管路更新計画に基づき、高級铸铁管0.41kmを更新します。 ・管路更新計画に基づき、終年管12.86kmを更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①3,320,948 ②3,320,948	2,796,962	84%	・管路更新計画に基づき、高級铸铁管については、令和4年度から繰越した工事(0.61km)を含め、0.65kmを更新しました。 ・管路更新計画に基づき、終年管については、令和4年度から繰越した工事(0.30km)を含め、12.95kmを更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□ 管路の更新率(0.93/1.06%) □ 管路の耐震管率(27.5/27.8%) □ 基幹管路の耐震管率(85.5/87.2%)	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B A A	A B B	B 市民などからの意見や苦情に適切に対応し、事業へのフィードバックを行いました。また、改善策として職員全体で業務に関わる知識や情報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を図りました。	・他の事業者と工事が競合する場合は、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。 ・設計変更も含めた工事の竣工が年度末に集中しているため、発注の平準化、適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるようより一層努めます。	現状維持で継続						
		2-2配水管網の強化	2-2-1配水管のネットワーク化の推進	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	市内全域を網羅している配水管網を、拠点浄配水場を軸とした5つのエリアに基幹ブロック(大ブロック)化し、水圧や流量などの快適性の向上を図ります。また、非常時には、断水範囲を最小限に食い止めるとともに、被害区域内を集中的に補修し、早期に復旧するためのネットワークを構築します。	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁や排水設備を整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。	①108,902 ②108,902	77,186	71%	・配水ブロック化事業実施計画に基づき、石神ブロックのブロック化に必要な仕切弁や排水設備を整備しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。	□ 補強管整備率(69.5/78.1%) □ 仕切弁設置率(93.1/89.7%) □ 仕切弁閉止率(73.8/73.8%)	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B A A	A B B	B 市民などからの意見や苦情に適切に対応し、事業へのフィードバックを行いました。また、改善策として職員全体で業務に関わる知識や情報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を図りました。	・他の事業者と工事が競合する場合は、工事時期や施工方法等の調整を図り、交通規制期間を最小限に抑えるとともに、断水・濁水の抑制、交通渋滞等の防止により一層努めます。 ・適正な工期の設定を徹底し、安全かつ余裕を持って工事が執行できるようより一層努めます。	現状維持で継続						
			2-2-2効率的な管路の拡張・充実	上水道建設課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	安全・安心な水道水を安定して供給するため、管網未整備路線等に配水管を整備します。	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な路線4.51kmを耐震管により整備します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工方法、施工体制を確認します。 ・区画整理事業施行者や他企業者と工事が競合する場合は、工事時期や施工方法等の調整を図り、効率的に工事を実施します。	①773,537 ②773,537	650,006	84%	・区画整理事業施行地区等、配水管の整備が必要な予定路線4.51kmに対し、約4.38kmを耐震管により整備しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を行いました。 ・区画整理事業施行者及び他の関係機関と協議・調整を行い、効率的に工事を行いました。	□ 管路の耐震管率(27.5/27.8%) □ 整備実施率(97.6/100%)	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B A A	A B B	B 市民などからの意見や苦情に適切に対応し、事業へのフィードバックを行いました。また、改善策として職員全体で業務に関わる知識や情報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を図りました。	適切な執行を行えるよう、土地区画整理事業施行者等と適宜協議・調整を行い、計画通りに工事が執行できるよう努めます。	現状維持で継続						
	2-3維持管理の充実	2-3-1浄配水場の適切な維持管理	浄水課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	浄配水場設備の適切な維持管理を図るとともに、配水量の変化に応じた適切な運転管理を継続します。	・安定した運用を行うため、定期的な設備点検を実施します。 ・不測の機器故障に対しても、迅速に対応し、被害を最小限にします。 ・設備の更新時も安定した水道水を供給するため、適切な運転管理を行います。	①263,591 ②263,591	253,988	96%	・定期的な設備点検を実施して機器の健全性を確認し、安定した運用ができました。 ・機器の故障に対して原因を確認し修繕を行うことにより被害を最小限にとどめ、安定した運用を継続できました。 ・設備の更新時においても適切な運転管理を行い、安定した水道水の供給ができました。	□ 浄配水場事故割合(0.00/0.00%)	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B B B	A B B	B 機器や施設の故障に柔軟に対応し、安定した水道水の供給ができました。	機器故障等について迅速に対応し、また、水需要に合わせた運転管理に努めます。	現状維持で継続							
		2-3-2管網の適切な維持管理	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場や配水管の計画的・効率的な更新および適切な維持管理を行うとともに、非常時の被害を最小限にする管網の整備を推進し、様々な漏水対策を図り、常に安定した水圧で途切れることなく水道水を供給します。	・管網の適切な維持管理を図るため、マッピングシステムを活用し漏水調査を行い、漏水修理などを実施します。 ・水道事故や漏水の早期復旧に対応するため、給水台帳を整備します。	・給水台帳、竣工図、道路台帳、管網解析システムなどの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行います。 ・より効果的な維持管理ができるようシステム改進を含め、マッピングシステムのあり方について検討します。 ・マッピングシステムについて作成されたマニュアルに関し、利用する担当者の意見を反映して、更なる操作性の向上を図ります。 ・次期マッピングシステムに係る仕様検証を行います。	①80,755 ②80,755	80,128	99%	・給水台帳、竣工図、道路台帳などの各種情報を基にマッピングシステムのデータ更新を継続的に行い、情報の鮮度及び正確性を向上させました。 ・システムの改修を継続して行い、より安定で効率的な作業ができるシステムとして性能向上を行いました。 ・管網解析システムについて整備を行い、情報の整理及び正確性を向上させました。 ・マッピングシステムのマニュアルを整備しました。	□ マッピングシステムのデータ更新を継続的に実施、情報の鮮度及び正確性を向上させた。 □ マッピングシステムのマニュアル整備	有効性 効率性 説明責任 組織学習	B B B B	A B B	B 次期マッピングシステム移行に向け、マッピングシステムのデータ整備及びシステム面の整備を引き続き実施していきます。	拡大して継続								

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 方 向 性	基本 政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針		
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容					
													効率性	業務のプロセ ス改善(創意 工夫)	投入した費 用・労力に対 する成果	評価理由 (特記事項)				
													説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応	情報発信の実 施					
													組織学習	職員の知識向 上のための取 組み	知識の伝達					
強 靱	2 安 定 ・ 快 適 な 水 道 水 の 供 給	2-4 漏水対策 の強化	2-4-1 漏水調査・漏 水対応	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場 や配水管の計画的・効率的な更 新および適切な維持管理を行う とともに、非常時の被害を最小限 にする管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、常に安 定した水圧で途切れることなく水 道水を供給します。	漏水の早期発見・早期修理により、漏水率の 低減を目指します。	・1次側漏水修理はお客様からの通報から漏水修 理完了までの時間を短縮します。 ・漏水多発地区の漏水調査と緊急漏水調査委託を 実施し、早期発見・早期修繕を実施します。 ・前年度より漏水率の低減を目指します。(目標漏 水率 6.0%)	①830,588 ②830,588	758,827	91%	・通報から修理完了までに要した時間は令和4年度は 53時間、令和5年度は48時間でした。 ・年間漏水件数は2,956件であり、緊急漏水調査にて 1,090件、他の漏水調査では227件の漏水を発見しまし た。 ・漏水率は6.0%であり、目標値と同値となりました。	□ 漏水率(6.0/6.0%)	有効性	A	A	B	施工業者が他の業務を行っているな どの事例があり、漏水修理に時間を 要してしまっているため、他部所と協 議を行い改善していきます。 漏水調査により早期発見を行い、漏 水量の低減に努めています。	現 状 維 持 で 継 続		
			2-4-2 老朽給水管 布設替の推 進	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場 や配水管の計画的・効率的な更 新および適切な維持管理を行う とともに、非常時の被害を最小限 にする管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、常に安 定した水圧で途切れることなく水 道水を供給します。	漏水発生頻度が高い私道内の老朽給水管の 布設替えを行うとともに、配水管の布設替工 事等に合わせて、給水管をステンレス鋼管等 に切替えるなど、漏水率の低減を図ります。	・「老朽給水管布設替計画」に基づき私道55路線の 老朽給水管の布設替えをします。 ・漏水発生件数の実績に基づき令和6年度以降の 「老朽給水管布設替計画」を更新します。 ・配水管新設・布設替に伴い、給水管切替箇所で給 水管をステンレス鋼管に布設替することにより、出 水不良の解消や漏水防止を図ります。 ・宅地内メーターまでのステンレス鋼管での切替率 を前年度より向上させ、宅地内の漏水防止を推進し ます。 ・橋梁添架配水管の維持修繕を施します。	①1,056,534 ②1,056,534	954,934	90%	・私道内2,032.7m70路線の老朽給水管の布設替えを実 施しました。 ・「老朽給水管布設替計画」の更新を行い、令和6年度 実施計画を作成し、次年度施工路線の選定を完了しま した。 ・配水管布設に伴う給水管切替1,260箇所をステンレ ス鋼管に変え、出水不良の解消を図りました。 ・宅地内のステンレス管切替は786箇所行い、前年度の 555箇所を上回りました。 ・橋梁添架配水管塗装工事は5箇所施工し、添架管の 漏水対策を図りました。また、消火栓補強金具は61箇 所設置しました。	□ 漏水率(6.0/6.0%) □ 配水管布設に伴う給水管切替 1,260箇所 □ 宅地内ステンレス管切替 786箇所	有効性	A	A					
													効率性	B	B				漏水率の向上や漏水防止へ貢献している事業 であり、現状通り進めて行きます。 但し、老朽給水管布設替は私道(民地)である ことから、権利者の承諾が絶対条件なため、丁 単な説明を心掛けます。	
													説明責任	A	B					
		2-4-3 私道内給水 管布設替整 備補助の促 進	上水道維持課	快適な生活のために、浄配水場 や配水管の計画的・効率的な更 新および適切な維持管理を行う とともに、非常時の被害を最小限 にする管網の整備を推進し、 様々な漏水対策を図り、常に安 定した水圧で途切れることなく水 道水を供給します。	補助金を交付することにより私道内の給水管 布設替整備工事を促進し、給水管の老朽化 に伴う出水不良および漏水多発等の解消に 努め、給水の安定と漏水率の低減を図りま す。	・お客様の申請に基づき13路線の老朽管をステン レス鋼管に布設替えることにより、出水不良や漏水 を解消し、給水管網の整備促進を図ります。 ・引き続き、申請予定件数の把握に努め、補助金の 予算執行を適正に実施します。	①20,000 ②20,000	3,285	16%	申請に係る相談件数は17件あり、補助金申請件数は2 件受理し、補助金を交付しました。布設替延長は98.1 m、補助金交付額は328万5千円、進捗率19.6%です。 補助金の利用促進を目指して、5月に本庁舎、支所等 市内9カ所にてチラシを設置しました。また、8月発行のみ ずくるまに私道補助3課(道路維持課・上水道維持課・ 下水道維持課)による特集記事を掲載し、利用促進を 図りました。そして、10月には川口市市産品フェア、11 月には彩の国フェアそれぞれにてポスター・チラシ配布 をし、私道補助について上下水道局×(旧ツイッター)に てポストによる広報を行いました。	□ 私道内給水管布設替延長 (98.1/500m) ※延長は目標値に達していないもの の、年度中の申請に対しては適切な 処理を行っており、周知等についても 制度の趣旨に沿った事業展開が できているため、「予定どおりの成果 を上げた」とした。 □ 補助金交付件数 2件 補助金交付額 328万5千円	有効性	B	A	B	今年度も私道補助3課による広報で一 定の成果が出ていることから、引き続 き関係課との連携を図りながら、今年 度以上に広報活動に注力し、市民へ の啓発の一層の強化を行っていきま す。	現 状 維 持 で 継 続			
												効率性	B	B				私道内老朽給水管の布設替が促進されまし た。 今年度より、新たに川口市市産品フェア、彩の 国フェアにてチラシ・ポスターを通じた広報活動 を行いました。その結果として、多くの市民に対 して啓発活動を行うことが出来ましたが、申請 件数は伸び悩みました。		
												説明責任	B	A						
												組織学習	B	B						
		3 災 害 対 策 の 推 進	3-1 震災対策 の強化	3-1-1 水道施設の 耐震化	上水道建設課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	地震等の災害発生時においても市民の救援 活動等に支障をきたすことのないよう、浄配 水場から重要給水施設(災害拠点病院およ び救急告示医療機関)への配水ルートを優先 的に耐震化します。	・災害発生時においても市民の救援等に支障となら ないよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管 により0.47km更新します。 ・工事施工にあたり、濁り水発生、出水不良及び交 通渋滞等を抑制するため、施工業者と綿密に施工 方法、施工体制を確認します。	①307,696 ②307,696	235,035	76%	・災害発生時においても市民の救援等に支障とならな いよう、救急告示医療機関への配水ルートを耐震管に より0.50km更新しました。 ・工事施工にあたり、交通渋滞等がないように、事前 に施工方法、施工体制を確認し、事故等もなく工事を進め ています。	□ 重要給水施設配水管路の 耐震管率 (77.6/80.1%)	有効性	B	A	B	今後、耐震化を進めていく重要給水 施設への配水ルートを選定したが、選 定配水ルートが最も効果的かつ効率 的な配水ルートが検証・解析を行いま す。	現 状 維 持 で 継 続	
														効率性	B	B				市民などからの意見や苦情に適切に対応し、 事業へのフィードバックを行いました。また、改 善策として職員全体で業務に関わる知識や情 報の伝達を積極的に行い、職員の知識向上を 図りました。
														説明責任	A	B				
														組織学習	A	B				
	3-1-2 応急給水・復 旧体制の整 備		上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	災害時や非常時の応急給水・復旧体制を整 備し、情報収集機能の強化、関係団体等との 連携強化など、社会基盤の一翼を担う水道 事業体として対応策の強化を図ります。	・上下水道局災害対策訓練等から得られた知見を 活かして、マニュアルの更新を行います。 ・日本水道協会や水道災害相互応援四市連絡協議 会については、該当事業体や関連団体と継続的な 情報交換を行います。 ・継続的な局内全体の応急給水復旧体制の基礎を 整え維持するよう働きかけます。	①169 ②169	5	3%	・日本水道協会の応援要請に基づき、令和6年能登半 島地震の被災地において応急給水、応急復旧活動を行 いました。 ・水道災害相互応援四市連絡協議会について、令和5 年度は事務局として応援体制表の取りまとめを行い、 次期事務局市に引継ぎを行いました。 ・局内訓練で応急給水資機材の取扱いやバルブ操作 訓練等を行い、手順や課題を確認することができまし た。 ・今年度末に退職予定の職員のうち、上下水道事業経 験者に災害時支援協力員になっていただけるように依 頼しました。	□ 給水人口一人当たり貯留飲料水 量(141/145 L/人) □ 応急給水施設密度 (38.7/42.0 箇所/100km) □ 災害対策訓練実施回数 (14/13回)	有効性	B	A	B	・各職員が自分の役割を認識し、いつ 災害が発生しても速やかに応急給 水・復旧活動に移行できる体制を整え ます。 ・各職員への災害時対応マニュアルの周知 や、災害対策訓練の実施回数を増やし職員 一人ひとりが自分の役割を認識することで、円滑 な活動体制の構築を見込みます。	現 状 維 持 で 継 続			
												効率性	A	B						
												説明責任	B	B						
												組織学習	B	B						

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

目指すべき方向性	基本政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及びスケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針	
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容				
														効率性	業務のプロセス 改善(創意工夫)				投入した費用・労力に 対する成果
														説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応				情報発信の実 施
															組織学習				職員の知識向上のための取 組み

強 靱	3 災害 対策 の 推 進	3-1 震災対策 の強化	3-1-3 災害用資機 材の整備	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	災害時に効率的かつ効果的な応急給水、災害復旧作業が行えるよう資機材等の整備を進めます。	・事業3-1-2「応急給水・復旧体制の整備」と合わせ、より効果的な災害用資機材等の研究を行い、局内での情報共有を行います。 ・各浄配水場の災害用資機材を点検し、災害用資機材管理台帳の更新を行います。また、発電機の保守点検を行います。 ・指定給水所への配水、備蓄ボトル水を補うものとして、家庭でのボトル水備蓄の啓発を行います。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行います。 ・ボトル水を製造し、各指定給水所等に配備を行います。	①10,596	9,095	86%	・応急給水訓練を実施し、災害用資機材の運用を確認しました。 ・災害用備蓄ボトル水を製造し、指定給水所への配備を実施しました。 ・給水袋3,000枚の備蓄を行いました。	□ ボトル水製造、配備 □ 給水袋配備(3,000/3,000枚)	有効性	B	A	B	・現在の資機材の管理情報(数、場所、状態)を常に把握し、局内の職員に共有を行い、災害に備えます。 ・局職員が必要とする資機材や物資を把握し、配備します。	現状維持で継続
								効率性				B	B					
								説明責任				B	B					
								組織学習				B	B					
		3-2 危機管理 体制の確立	3-2-1 テロ対策の 強化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	・水道施設に毒物投入などのテロ攻撃を受けると、市民生活や経済活動を脅かす事態となることから、テロ行為抑止のため、水道施設の警備強化および水質監視体制の強化を図ります。 ・緊急時の飲料水の供給体制、関係団体等との連携などの対策強化を図ります。	・浄配水場の機械警備や進入防止策を維持し、調査研究を行い警備体制の強化を図ります。 ・応急給水訓練を実施します。 ・関係団体との連携強化を図ります。 ・上青木浄水場外周フェンスの更新を行います。	①70,008 ②70,008	68,652	98%	・複数年契約を行うことにより、年間を通して安定的な高度機械警備体制を維持し、浄配水場の安全を確保しました。 ・応急給水班と管路復旧班で連携し応急給水訓練を実施しました。 ・会議等を通じ、日本水道協会等の関係団体との連携強化を図りました。 ・関係各課や委託業者と打ち合わせ等を行い、上青木浄水場北・西側フェンス改修工事を行いました。	□ 応急給水訓練の実施(3/2回)	有効性	B	A	B	・浄配水場の機械警備や侵入防止策を維持し、調査研究、警備体制の強化に努めます。 ・非常時に備え、各班ごとに必要な新たな訓練を実施します。	現状維持で継続
								効率性				B	B					
								説明責任				B	B					
								組織学習				B	B					
	3-2-2 漏水対策の 強化		上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	水源となるダム貯水量等の情報収集を行い、漏水時においても、安定した水道水の供給に努めます。	・漏水状況に応じ、漏水対策マニュアルに沿って、非常時体制へ速やかに移行します。 ・漏水対策マニュアルを適宜更新します。 ・水源情報、水源地積雪状況及び気象庁長期予報等を収集し、情報提供を行います。	①0 ②0	0	一	・ダム貯水量、水源地降水量、積雪量等の情報収集を行い、漏水状況の注視に努めました。 ・水源情報、水源地積雪状況および気象庁長期予報等を収集しました。	□ 応急給水訓練の実施(3/2回)	有効性	A	A	B	・引き続き、必要に応じて漏水マニュアルの更新を行います。 ・水源情報、水源地積雪状況及び気象庁長期予報情報を引き続き収集し、上下水道局ホームページ及び公共施設での文書掲示による広報の準備を行い、漏水に備えます。	現状維持で継続	
							効率性				B	B						
							説明責任				B	B						
							組織学習				B	B						
	3-2-3 水道事故対策の 強化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	配水管の布設工事等において、不測の事故が起こらないよう防止策を講じます。また、事故発生時には、迅速な対応に努めます。	・令和4年度分の水道事故報告について、その原因・対応策を調査、研究します。 ・水道事業者時には、迅速に対応し、被害を最小限に止めます。	①0 ②0	0	一	・令和4年度に発生した事故の情報について、検証を行いました。	□ 浄水場事故割合 (0.00/0.00 10年間の件数/箇所) □ 管路の事故割合 (0.6/0.0 件/100km) □ 基幹管路の事故割合 (0.0/0.0 件/100km) □ 給水人口一人当たり平均断水・漏水時間(0.00/0.00時間)	有効性	B	A	B	・水道事故例を収集、分析し再発防止を図ります。	現状維持で継続		
						効率性				A	B							
						説明責任				A	B							
						組織学習				B	B							
3-2-4 災害対応の 強化	上下水道総務課	地震や風水害といった自然災害 などにおいて、非常時への備えを 強化し、また、一日でも早い安定 した日常生活の回復のために、 社会基盤を支える企業としての 役割を果たします。	市民生活や経済活動に不可欠な重要なライフラインを担う水道事業者として、あらゆる脅威や非常時へ対応するため、体制整備を図ります。	・新型インフルエンザのほかノロウイルス等感染症に関する情報を収集し、組織内において共有します。 ・感染症予防講習会を実施します。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともにホームページに掲載します。 ・各浄配水場の自家発電設備の日常点検を行うほか、自家発電設備に必要な石油燃料を確保します。 ・通信機能停止を想定した運転訓練を行うとともに、緊急時対応マニュアルを適宜更新します。	①243 ②347	347	100%	・新型インフルエンザ等の感染症に係る情報収集を行い、職員及び委託関係者を対象とした感染症予防講習会を開催し、感染症予防に関する知識の強化を図りました。 ・定期的に放射性物質に関する水質検査を実施し、埼玉県の検査結果とともに上下水道局ホームページに掲載しました。 ・定期的(1)に非常用自家発電設備の試運転を行い、確実に運転できるように状態を維持し、常に燃料の確保をしました。 ・非常時を想定した新郷浄水場でベクレルポンプ等の応急給水切替訓練を実施しました。	□ 感染症予防講習会の実施 (1/1 回/年) □ 水道水における放射性物質の情報提供(4/4 回/年) □ 燃料備蓄日数(0.4/0.4日) □ 停電時配水量確保率 (77.8/78.4%)	有効性	B	A	B	・新型インフルエンザ等対策マニュアルに基づき、職員への感染予防対策を実施し、未発生期においても要員や物品の確保、業務優先リストを作成するなどの対策を行います。 ・非常時を想定した訓練を実施し、不測の事態に対応できるように訓練を継続します。	現状維持で継続			
					効率性				B	B								
					説明責任				B	B								
					組織学習				B	B								
持 続	4 サ ー ビ ス の 向 上	4-1 お客様サービスの 向上	4-1-1 お客様センターの利便性の 向上	料金課	信頼される水道サービスであるために、お客様に正確・迅速・丁寧に対応するとともに、お客様ニーズの把握によりサービスを充実し、積極的な情報提供により相互理解を深め、お客様の満足度を高めます。	上下水道局お客様センターの利便性の向上を図るため、継続的に機能の検証を行います。また、窓口でのご意見やご要望などのお客様の声を業務に反映させ改善に努めます。	①679,354 ②679,354	676,880	100%	・令和5年度分のインターネットを利用した使用開始・中止等の届け出件数は11,212件であり、昨年度実績(10,161件)を上回りました。 ・意見・要望等及び委託業務の円滑な稼働については、検針・収納等委託業者から意見・要望を含む月次報告書を提出させるとともに、毎月連絡調整会議を開催し、事業の進捗状況を共有、把握、検証しています。 ・検針・収納等委託業務が円滑に稼働しているか、同委託事業の評価審査委員会によって検証しました。	□ 料金請求誤り割合 (0.13/0 件/千件) □ インターネットを利用した使用開始・中止等の届出 11,212件	有効性	A	A	A	・経営の効率化やお客様サービスの向上を図るため、今後も各種手続きにおける電子申請を検討していきます。	現状維持で継続	
							効率性				A	B						
							説明責任				B	B						
							組織学習				B	A						

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 方 向 性	基本 政策	施策	事業名称	主管課	基本政策	事業目的	取組内容、数値目標及び スケジュール (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決算額 (千円)	執行率	達成状況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針	
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容				
													効率性	業務のプロセ ス改善(創意 工夫)	投入した費 用・労力に対 する成果	評価理由 (特記事項)			
													説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応	情報発信の実 施				
													組織学習	職員の知識向 上のための取 組み	知識の伝達				
持 続	4 サ ー ビ ス の 向 上	4-1 お客様 サービス の向上	4-1-2 サービスの 多様化	料金課	信頼される水道サービスであるた めに、お客様に正確・迅速・丁寧 に対応するとともに、お客様ニー ズの把握によりサービスを充実 し、積極的な情報提供により相互 理解を深め、お客様の満足度を 高めます。	お客様の利便性を高めるため、多様化するお 客様ニーズを把握し、サービスの充実に努め ます。	・導入したクレジットカード決済、スマートフォン決済 の取納比率を検証します。 ・口座振替割引制度導入後の期限内納付率を検証 します。 ・新たな支払いチャネルの導入に向けた調査・研究 を進めます。 ・取扱金融機関の拡大について、調査・研究を進め ます。	①57,400 ②57,400	57,208	99%	・キャッシュレス決済の利用割合が、クレジットカード決 済で9.85%(前年度7.80%)、スマートフォン決済で 3.84%(前年度3.35%)となり、前年度に比べ増加しまし た。 ・口座振替割引制度により、納期限内の納付が促進さ れました。 ・スマートフォン決済の取扱いブランドとして、新たに楽 天ペイ、J-Coin Pay、銀行Pay(ゆうちょPay等)を導入し ました。 ・取扱金融機関として、新たにイオン銀行が加わりまし た。	□ 取扱金融機関数(25/25行)	有効性	A	A	A	・お客様の利便性の向上のため、引き 続きキャッシュレス決済を推進してい きます。	現状 維持 で 継 続	
			4-1-3 情報資産の 管理と情報 提供の推進	上下水道総務課	信頼される水道サービスであるた めに、お客様に正確・迅速・丁寧 に対応するとともに、お客様ニー ズの把握によりサービスを充実 し、積極的な情報提供により相互 理解を深め、お客様の満足度を 高めます。	個人情報の管理を徹底し、漏えい防止のた め万全の体制整備を図ります。また、川口市 情報公開制度の厳格運用を継続するとと に、積極的かつ迅速に、わかりやすい情報発 信に努めます。	・個人情報の保護に関する法律を遵守し、川口市情 報セキュリティポリシーの厳格運用を継続します。 ・委託企業による個人情報保護に対する取組みに ついて検証を行います。 ・職員に対し情報セキュリティに係る研修を実施し、 個人情報保護の徹底を図ります。 ・上下水道事業年次報告書を作成します。	①54 ②55	55	100%	・個人情報の保護に関する法律を遵守し、川口市情 報セキュリティポリシーを厳格運用を継続した結果、個人 情報の漏えい事故発生件数は0件でした。 ・委託企業による個人情報保護に対する取組みにつ いて検証を行い、情報資産の取扱いについて適切な指導 を行いました。 ・上下水道局新任職員研修にて、情報セキュリティ研修 を実施しました。 ・上下水道事業年次報告書を作成し、速やかに関係団 体に配付等しました。	□ 個人情報漏えい事故発生件数 (0/0件)	有効性	A	A	A	・上下水道事業年次報告書を8月初旬 に発行します。 ・テレワーク等、働き方の変化に応じ て適切な情報セキュリティ施策を講 じ、個人情報及び機密情報の保護に 努めます。	現状 維持 で 継 続	
													効率性	A	A	・上下水道事業年次報告書について、各種統 計の調査時期を合わせることでデータの精 度を高め、8月中に発行後、速やかに関係団体 に配付等行いました。			
													説明責任	A	B				
		4-1-4 水道事業PR とお客様の 声の反映	上下水道総務課	信頼される水道サービスであるた めに、お客様に正確・迅速・丁寧 に対応するとともに、お客様ニー ズの把握によりサービスを充実 し、積極的な情報提供により相互 理解を深め、お客様の満足度を 高めます。	・お客様の水道事業への理解を促進するた め、上下水道局ホームページ、広報誌、各種 イベントにおけるPR活動等により、積極的な 情報発信に努めます。 ・市民意識調査やアンケート等によりお客様の 意見を収集し、お客様ニーズの的確な把握 とお客様の意見を水道事業に反映させるた め、広報・広聴体制を推進します。	・各種イベント参加により水道のPR事業を実施しま す。 ・ホームページアンケートおよびイベントでのアン ケート調査を実施し、結果を事業に反映させます。 ・ポスターコンクールを開催し、表彰式、展示会を実 施します。 ・上下水道広報誌「みずぐるま」を発行し、満足度の 高い情報提供に資するように工夫を凝らします。	①8,319 ②8,319	8,096	97%	・イベント(市産品フェア、彩の国フェア、消防防災フェア)に出展し、水道事業をPRしました。なお、出展を予定していた荒川ふれあいまつりは荒天のため中止となりました。 ・市民意識調査及び上下水道局ホームページや市産品フェアにてアンケートを実施し、水道事業の取組みの周知度を把握するとともに、お客様のご意見・ご要望を収集しました。 ・ポスターコンクールを実施し、1,778名からの応募がありました。表彰式は7月に入選者を対象として行いました。また、8月に川口市役所第一本庁舎、9月にアトリアにて展示会を実施し、61作品を展示しました。 ・広報誌を年2回発行し、水道事業の財政状況・経営状況・取組みについて掲載しました。掲載にあたっては写真や図を活用し、理解に繋がるよう努めました。	□ 広報誌による情報の提供度 (1.3/1.5 部/件) □ アンケートの実施 (有効回答数 2,627件)	有効性	B	A	B	・お客様の水道事業への理解に繋がるよう、ホームページ、SNS、広報誌、各種イベントにおける広報方法を工夫します。	現状 維持 で 継 続		
												効率性	A	B	・指標は目標値を下回っていますが、広報誌等は配布のほかには上下水道局ホームページにも掲載しており、多くのかたに周知しました。 ・SNSを活用し、イベントや災害派遣などについての情報を発信しました。				
												説明責任	B	A					
												組織学習	B	B					
		5 社 会 ・ 環 境 と の 調 和	5-1 地域社会 との協働	5-1-1 地域社会と の連携強化	上下水道総務課	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。	・地域住民の水道事業への正しい理解を促進するため、浄水場や水道庁舎を活用し、「水道」について学習する環境を整えます。 ・市民の皆様との積極的なコミュニケーションを通し、水道事業への理解と協力を促します。 ・地域住民との災害訓練等の場を捉え、防災対策の促進を図るとともに、地域との連携強化を図ります。	①847 ②847	460	54%	・水の学習会について、栃木県鹿沼市との上下水道交流事業(南摩ダム)として実施します。 ・浄水場等を活用した上下水道学習プログラムを実施し、内容の充実・拡充に努めます。 ・上下水道学習用パンフレットを施設見学者や市内小学校に配布します。また、内容の更新を行います。	□ 水道施設見学者割合 (0.076/0.6 人/千人) □ イベント出席回数(3/2 回/年)	有効性	B	A	B	・上下水道学習用パンフレットの市内小学校への配布を継続します。 ・上下水道学習事業として、水の学習会、上下水道施設見学会を実施します。	現状 維持 で 継 続	
													効率性	B	B	・3年ぶりに水の学習会を実施しました。 ・アクアホールを利用した施設見学に代わって、上下水道施設見学会を初めて実施しました。			
													説明責任	B	A				
													組織学習	B	B				
				5-2 資源の有効利用と 環境負荷の軽減	5-2-1 資源・エネルギーの有効活用	財務課	水道事業を通じて、社会との調和を実現するために、社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、限りある自然環境を未来に残せるよう環境と調和した事業を推進します。	・電力消費量削減のため、施設の更新時に高効率型設備や省エネルギー型設備を導入します。 ・これまで公用車へのハイブリッド自動車・電気自動車の導入により削減してきた燃料使用量を今後も維持します。 ・循環型社会構築のため、建設発生土などの再生資源を有効活用します。	①2,621 ②2,621	2,114	81%	・燃料使用量は、目標値に対し77.96%であり、使用量抑制目標を達成しました。 ・建設発生土などの再生資源を有効活用しました。	□ 公用車燃料使用量の維持 (12,005/15,400L)	有効性	A	A	B	・燃料性能が低い車両について、リース替えにより燃費性能の高い車両にする。また省エネ運転の周知により、使用燃料の削減を推進する。	現状 維持 で 継 続
														効率性	A	B	・燃料使用量の抑制を推進しているが、引き続き使用量削減に努めていく。		
														説明責任	B	B			
														組織学習	B	B			
6 経営基盤の強化	6-1 財政基盤の強化			6-1-1 水道料金の継続的検討	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業を継続していくために、経営資源を効果的に活用し、健全な財政状況のもと、組織能力・組織体制を強化し、中長期的な視点に立った経営を行います。	・給水収益の減少や水道施設の老朽化など、厳しい経営環境の中でも、安全・安心な水道水を安定してお届けするために、適切な水道料金と料金体系を検討します。 ・大口需要者の動向を調査し、精度の高い水需要予測をすることで、適切な料金改定の時期、料金水準等を検証します。	①0 ②0	0	ー	・収集した資料を基に、調査対象事業者等の水道料金に関わる情報を比較・分析しました。 ・大口需要者の令和元年度から令和4年度の動向を調査し、水量を比較・検証しました。		有効性	B	A	B	・健全経営を継続するためには、適正な水道料金の設定が必要です。適正な料金水準について検証を継続します。	現状 維持 で 継 続	
													効率性	B	B	・類似団体及び県内事業者等の水道料金及び大口需要者の動向を分析しました。 ・更に適正な料金水準について検討を行うため、基本水量等についても調査をすすめます。			
													説明責任	B	B				
													組織学習	B	B				

令和5年度水道事業評価(終了時)一覧表

目 指 す べ き 方 向 性	基 本 政 策	施 策	事 業 名 称	主 管 課	基 本 政 策	事 業 目 的	取 組 内 容、数 値 目 標 及 び ス ケ ジ ュ ー ル (単年度)	①当初予算額 (千円) ②現計予算額 (千円)	決 算 額 (千円)	執 行 率	達 成 状 況	各事業の目標値に 対する実績値 (実績値/目標値)	視点評価			総合評価	事業を実施する上での 課題及び改善方針	今後の 実施 方針	
													有効性	指標や目標値 の達成度	目的に対する 実施内容				
													効率性	業務のプロセ ス改善(創意 工夫)	投入した費 用・努力に対 する成果				
													説明責任	意見や苦情に 対する適切な 対応	情報発信の実 施				
													組織学習	職員の知識向 上のための取 組み	知識の伝達				
持 続	6 経 営 基 盤 の 強 化	6-1 財政基盤 の強化	6-1-2 収納率の向 上	料金課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	財政基盤を強化するとともに、料金負担の公平 性を確保するため、収納率の向上を図ります。 ・	・収納率向上や債権管理の適正化のため、水道料 金支払いにおけるキャッシュレス決済を推進しま す。 ・現年度収納率の維持及び過年度収納率の向上が 図られているか検証します。	①0 ②0	0	－	・水道料金等支払いのキャッシュレス化に取り組み、 キャッシュレス決済利用率が前年度に比べ向上しまし た。 ・弁護士法人による未収金回収業務委託や、他市への 居所不明者調査を行い、未収債権の回収に取り組んで います。 ・現年度収納率は90.87%、過年度収納率は94.38%で あり、令和4年度実績(現年度91.11%、過年度94.55%) と比較したところ、現年度、過年度ともに若干低下して います。	□ 収納に占めるキャッシュレス決 済利用率(72.04/71.80%) □ 過年度収納率(94.38/94.55%)	有効性	B	A	A	・債権管理の適正化やお客様サービ ス向上のため、キャッシュレス決済を 今後も推進していきます。 ・水道事業を実施するための原資で ある水道料金について、収納率向上 のための取り組みを継続していきま す。	現 状 維 持 で 継 続	
													効率性	A	A				・キャッシュレス決済の利用促進のため、積極 的な広報やチラシ配布を行い、利用者の増加 につながりました。
													説明責任	B	A				
													組織学習	B	B				
		6-1-3 資産・資金管 理の効率化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	・持続可能な水道事業を実現するために、ア セットマネジメントを活用した効率的な資産の 管理運営に努めます。 ・将来にわたり健全な経営に資するため、安全 性、流動性を確保した資金管理を行います。 ・中長期的な資金需要を把握し、事業規模に 見合った企業債の借入れを行うことで、過度 に借入金に依存することのない持続可能な財 政運営に努めます。 ・庁内LANにより情報資産を効率的かつ適正 に管理・運用するとともに、情報セキュリティ マネジメントによりウイルス感染など様々なリ スクにおける被害を最小限にとどめます。	・維持管理情報を更新蓄積し、データベースの精度 を高めます。 ・収入の確保が見込まれる財源の範囲で支出予算 を編成し、施設更新費用の抑制と平準化に努めま す。 ・企業債の借入れは、事業推進に見合った適正な 額で行います。 ・職員使用端末の調達方法を見直し、費用の削減 を図ります。	①56,767 ②56,767	49,832	88%	・維持管理更新情報をアセットマネジメントシステムに入 力し、蓄積することでデータベースの精度を高めること ができました。 ・令和4年度の利益及び資金残高の決算見込みを作成 し、令和6年度以降、各課が要望する老朽管・浄配水場 の更新費用、漏水防止の委託料などに対応できる範囲 を検証しました。 ・令和6年度予算編成において、令和5年度末の現金残 高、令和6年度の資金需要などを精緻に見込み、可能 な限り削減に努めた結果、企業債の借入れ額を償還額 の範囲内に抑えることができました。	□ 自己資本構成比率 (63.8/62.2%) □ 料金改定時の見込みを踏まえ、 可能な限り削減に努めた結果、企業 債の借入れ額を償還額の範囲内に 抑えることができました。	有効性	B	A	B	・アセットマネジメントシステムには引き 続き維持管理情報を更新蓄積し、 データベースの精度を高めていきま す。 ・令和6年度予算においては、現金の 保有残高が減少する見込みとなつて は、併せて現金の推移については 注視していく必要があります。 ・漏水防止策を促進し、将来的な経費 削減に努めます。また、配水管等施 設更新の財源である企業債は自己資 金とのバランスにより決定するため、 今後の程度資金が必要かを正確に 把握する必要があります。このため、 必要経費の見込みについては、予算 編成前に直近の情報で見直しを行 い、再度算定します。	現 状 維 持 で 継 続		
												効率性	A	A				・職員使用端末の調達方法を見直し、リースか ら市と共通仕様の端末の購入へと変更するこ とで複数年単位での費用の削減ができました。	
												説明責任	B	B					
												組織学習	B	B					
		6-2 組織能力 の向上	6-2-1 適正な組織・ 職員配置	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	事務事業や組織の見直し等により、人的資本 を有効に機能させるとともに、「人材の育成」 事業とあわせ、組織全体の価値提供水準を 向上させます。	・社会情勢が変化する場合、お客様ニーズへの適切 な対応を図るため、効率的かつ効果的な組織体制 づくりを検討します。 ・ワークライフバランスの観点から、職員の時間外 勤務の実施時間を令和3年度比で5%削減できるよ う、事務改善等を含めた適正かつ効率的な組織運 営を図ります。	①0 ②0	0	－	・次年度以降の組織・人員について、局内各課との協議 を行い必要な人員を要望しました。また、効率的な経営 施策を実行するため、長期的視点に立ち、適切な組織・ 業務分担についての検討を行いました。 ・時間外勤務の縮減、事務の効率的な執行という観点 から、常に業務全体の見直しを図りながら、効率的・機 動的な事業運営を行いました。令和5年度の職員の時 間外勤務について、令和3年度と比較し、約0.9%削減と なりました。	□ 時間外勤務の実施時間の削減 R3年度比0.9%削減 (目標5%削減)	有効性	C	A	B	・人員配置や組織改正を検討する際 には、併せて業務全体の見直しを行 い、さらに職員の時間外勤務を削減で きるよう、事務改善等を含めた適正か つ効率的な組織運営を目指します。	現 状 維 持 で 継 続	
													効率性	B	B				・令和6年1月に発生した能登半島地震による 被害への対応に職員を派遣したことから、時間 外勤務の実施時間が増加し、目標値を達成す ることができませんでした。今後も引き続き業 務の見直しを行い、時間外勤務の削減を目指 します。
													説明責任	B	B				
													組織学習	B	B				
6-2-2 人材の育成	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	重要なライフラインを担う水道事業体として、 資格取得や外部研修への参加を奨励すると ともに、職員間で知識や技術を共有すること により、各事業に関する専門的な知識等を有 する職員を継続的に育成し、将来にわたって 水道事業を維持、継続していくために必要な 専門的知識および技術の継承を図ります。	・局研修計画を継続して実施し、研修への参加を促 進します。 ・職務に必要な資格取得を奨励します。	①1,155 ②1,155	1,003	87%	・有料研修の実績については、延べ58人が24講座を受 講し、水道事業体の職員としての見識を広げました。 ・職務に必要な資格については、3人が受講し、2人が資 格(水道技術管理者1名、給水装置工事主任技術者1 人)を取得しました。 ・東京ガスネットワーク株式会社との「BPR支援に関 する連携協定」に基づき、同社社員のアドバイスを受けな がら職員(9名)がBPRに取り組み、その内容を局内で 共有しました。	□ 水道技術に関する資格取得度 (1.51/1.51 件/人) □ 外部研修時間 (18.4/20.0 時間/人) □ 内部研修時間 (3.2/10.0 時間/人)	有効性	B	A	A	・今後も積極的に局内各課へ情報提 供を行い、研修の受講や資格取得を 促していきます。 ・引き続きBPRを実践し、職員一人ひ とりが日常的にBPRに取り組む風土 の醸成を図ります。	現 状 維 持 で 継 続				
										効率性	A	A				・積極的に研修案内等の情報発信を行ったこと で、昨年よりも予算執行率が増加したため、今 後も職員へ研修受講を勧めています。また、 人事異動などを見据えて、日頃から、知識と情 報の伝達に努め、更なる組織能力の向上を改 善を図っていきます。 ・BPRを実践し、業務の効率性・利便性を向上 させました。また、その内容を局内に共有する ことで、職員一人ひとりが日常的にBPRに取り 組む風土の醸成を図りました。			
										説明責任	B	A							
										組織学習	A	A							
6-3 経営体制 の強化	6-3-1 中期経営計 画の運用	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	・経営基盤の強化を図るため、中期経営計画 を策定し、各事業の進捗管理を行います。 ・中期経営計画に基づく財政とバランスのと れた施設整備を進めます。	・事業評価および中期経営計画のローリングを実施 し、各事業の進捗管理を行います。 ・財政収支計画を検証するとともに、水道ビジョン改 訂の準備を進めます。 ・民間活力の導入について他事業体の動向を調査 します。	①0 ②0	0	－	・事業評価および中期経営計画のローリングを実施し、 各事業の進捗管理を行いました。		有効性	B	A	B	・事業評価及び中期経営計画のロー リングにより、各事業の課題等洗い 出します。 ・財政収支計画を検証するとともに、 第3期中期経営計画の改訂を行いま す。	現 状 維 持 で 継 続			
											効率性	B	B				・各事業における進捗状況を把握するとと に、進捗管理を行いました。		
											説明責任	B	B						
											組織学習	B	B						
6-3-2 広域連携の 強化	上下水道総務課	将来にわたり安定した水道事業 を継続していくために、経営資源 を効果的に活用し、健全な財政 状況のもと、組織能力・組織体制 を強化し、中長期的な視点に立っ た経営を行います。	・水需要の減少、人材の確保などの課題に対 し、他の水道事業者と連携し、管理の一体化 や施設の共同化などの広域化施策を検討し ます。 ・水道事故などの危機対応のため、関係団体 との連絡体制の構築、情報の共有化を図りま す。	・「埼玉県水道整備基本構想」に基づき、関係団体 と検討部会を開催し、水道広域化について検討しま す。 ・利根川・荒川水系水道事業者連絡協議会におけ る連携を図ります。 ・日本水道協会における連携を図ります。 ・埼玉県営水道用購入団体等連絡協議会におけ る連携を図ります。	①927 ②927	893	96%	・埼玉県第7ブロック水道広域化検討部会にて、水道広 域化について検討・情報共有をしました。 ・公益社団法人日本水道協会については、各支部、地 区内で情報共有を行いました。 ・埼玉県営水道用購入団体等連絡協議会では埼玉 県企業局と意見交換会を開催し、情報共有を行いま した。 ・利根川・荒川水系連絡協議会は総会、幹事会に書面 にて参加しました。利根荒水協水質事故対応訓練に参 加し、水質事故が起きた際の連絡方法などを確認でき ました。		有効性	A	A	B	・水道広域化については、引き続き関 係事業体と検討します。 ・引き続き、各団体において、他事業 体との連携を図ります。	現 状 維 持 で 継 続				
										効率性	B	B				・水道広域化について、検討・情報共有を行っ たことにより、関係事業体の状況を把握するこ とができました。 ・必要な情報については、漏れなく周知を行 いましたが、情報発信に遅れがあったため、遅滞 なく発信を行うことで改善を見込みます。			
										説明責任	B	B							
										組織学習	B	B							